

令和2年安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰



令和2年10月16日 於：総理大臣公邸

令和2年安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰

受賞者名簿

(団体名五十音順)

【防犯活動】

- | | | |
|---|-------------------|----------|
| 1 | 茨城県つくば地区防犯協会館野分会 | (茨城県警察) |
| 2 | 北須磨団地自治会 | (兵庫県警察) |
| 3 | サイバー防犯ボランティア「KC3」 | (熊本県警察) |
| 4 | 笹丘校区危機管理部 | (福岡県警察) |
| 5 | 湘南鷹取防犯対策委員会 | (神奈川県警察) |
| 6 | 常盤地区防犯協会 | (岩手県警察) |
| 7 | 根石学区防災防犯協会連合会 | (愛知県警察) |
| 8 | 藤田安全パトロール隊 | (岡山県警察) |

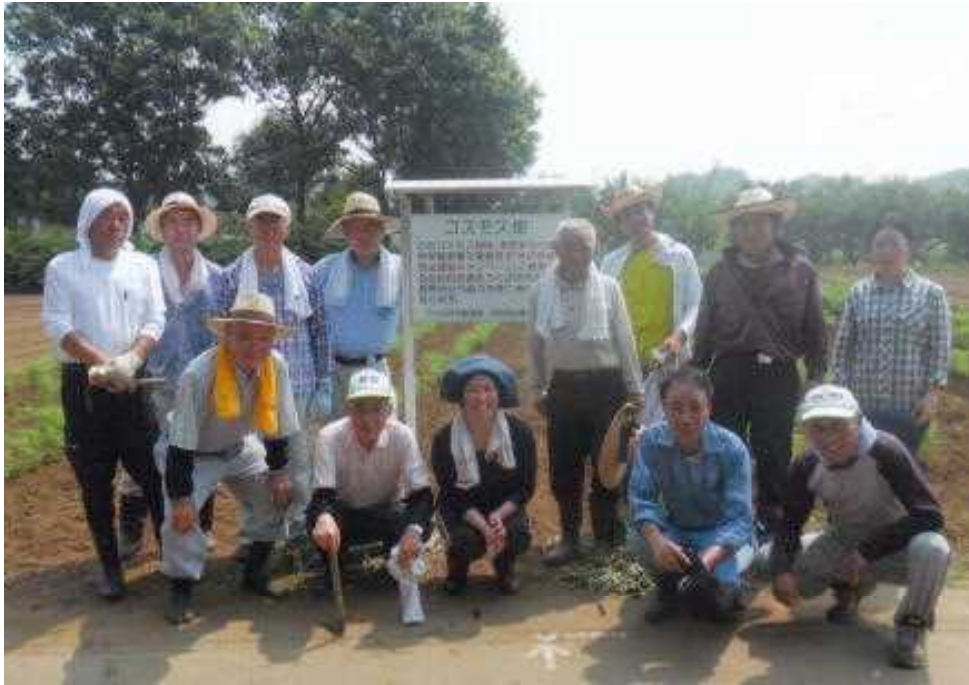
【再犯の防止等に関する活動】

- | | | |
|---|--------------------------|-----------|
| 1 | 壱岐地区更生保護女性会 | (長崎保護観察所) |
| 2 | NPO法人SFD21JAPAN | (福岡県) |
| 3 | 株式会社新来島どっく | (法務省矯正局) |
| 4 | 京都BBS連盟 | (京都保護観察所) |
| 5 | 公益財団法人日本盲導犬協会島根あさひ訓練センター | (法務省矯正局) |
| 6 | 社会福祉法人山形市社会福祉協議会 | (山形地方検察庁) |
| 7 | 田川警察署少年補導員連絡会 | (福岡県警察) |
| 8 | 豊島区保護司会 | (東京保護観察所) |

※括弧内は推薦団体

功 績 概 要

推 薦 者	茨城県警察
団 体 名	茨城県つくば地区防犯協会館野分会
所 在 地	茨城県つくば市
代 表 者	柳沢 逸夫
功 績 の 概 要	<p>昭和45年、「茨城県防犯協会谷田部支部館野分会」として設立、平成14年に現在の団体名称となる。</p> <p>毎日、小・中学校の登下校時間帯に街頭立哨活動、青色防犯パトロールを実施するほか、月8回、巡回パトロール車によるパトロールを実施。</p> <p>年4回、違反広告物の撤去作業を行うほか、小学校での自転車防犯指導活動、警察署と共同した大型ショッピングセンターの駐車場・地元団地内での自動車防犯診断を実施。</p> <p>非行少年の立ち直り支援活動として、対象少年等と一緒に草取り活動を実施。</p> <p>毎年10月の全国地域安全運動時に育てたコスモスを花束にして防犯グッズと共に配布する「コスモスキャンペーン」は、住民に定着しており好評を得ている。</p> <p>管内小学校で日頃の見守り活動への感謝表明及び協力関係保持のために毎年実施される感謝祭には、防犯連絡員が招待されており、児童と顔の見える関係を構築。</p> <p>「子供を守る110番の家」を積極的に推進し、管内小学校に同制度を取り入れるとともに、玄関先や門扉等に貼る表示シールを作成、配布して現在の活動の基礎を築くなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	兵庫県警察
団 体 名	北須磨団地自治会
所 在 地	兵庫県神戸市
代 表 者	西内 勝太郎
功 績 の 概 要	<p>昭和43年、「友愛と信義」を旗印に地域住民の結束と相互協力の強化を目的として設立。</p> <p>地域活動の拠点として自治会独自の民間交番「友が丘防災・防犯センター」を設立し、老人会等と協力してほぼ毎日常駐するとともに、住民の交流の場としても活用。</p> <p>毎日、小学校の教職員等と連携し、児童の登下校時間帯に合わせた見守りや青色防犯パトロールを実施。</p> <p>毎月第4土曜日は、地域住民の自主参加による夜間集団パトロールを実施するほか、夏休み・年末等には子供達や若者も参加できる「防火・防犯パトロール」を実施し、次世代の活動人員確保と後継者育成にも配慮。</p> <p>自治会主催の地区の高齢者昼食サービスや高齢者男性の料理教室等に警察官を招き、防犯教室を開催。</p> <p>自治体からの助成金を活用するなどして、現在、18台の防犯カメラを運用管理。</p> <p>小学校等と連携し、毎年夏休み前に小学6年生を対象とした防犯に役立つ知識や火災・事故等を目撃したときの対処方法等についての教養、防災訓練等を実施し、受講者に「セーフティー・キッズ認定証」を発行して防犯・防災意識の高揚を図るなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	熊本県警察
団 体 名	サイバー防犯ボランティア「KC3」
所 在 地	熊本県熊本市
代 表 者	那須 裕斗
功 績 の 概 要	<p>平成23年、「熊本学園大学ISPサークル」として設立、他大学にも活動参加を働きかけたところ、県内4大学による活動に拡大、平成27年に現在の団体名称に改める。</p> <p>週1回程度、違法有害情報を発見、関係機関に通報するサイバーパトロールを実施し、発見した情報を警察等に通報。児童の被害増加が懸念される夏休み期間中は、集中的なサイバーパトロールを実施し、また、地震等の大規模災害発生時にはデマ情報の収集を行い、警察への情報提供を実施。</p> <p>県内小・中・高等学校の児童・生徒、保護者や高齢者等、対象に合わせた情報モラルの向上を目的とするサイバー防犯講話を年間通して開催するほか、サイバー空間における犯罪被害防止を啓発するポスターやチラシを作成、配布する広報啓発活動を実施。</p> <p>他県のサイバー防犯ボランティア団体とも積極的に意見交換を行い、互いの士気高揚を図るほか、県内の高等専門学校、企業、学校教員等に団体の活動を紹介して活動への参加、理解を呼びかけ、サイバー防犯ボランティア活動の裾野拡大に向けた取組を推進するなど、サイバー空間の犯罪防止に大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	福岡県警察
団 体 名	笹丘校区危機管理部
所 在 地	福岡県福岡市
代 表 者	副田 茂喜
功 績 の 概 要	<p>昭和57年、地域住民による団体として設立、平成17年の福岡西方沖地震を契機に防災を活動に加え、現在の名称となる。</p> <p>毎日、登校時間帯に通学路で立哨による児童の見守り、下校時間帯に青色防犯パトロールを実施するほか、校区の愛犬家で構成される「わんわんパトロール隊」による散歩を兼ねた「ながら防犯パトロール」を実施。</p> <p>防犯意識の高揚等を目的に、子供、保護者、高齢者と対象を分けた安全安心教室を開催するほか、年1回、警察、消防、行政等と協力し、防犯・防災及び交通安全を目的とした総合訓練を企画、開催。</p> <p>校区の小中学校の生徒約20名から構成される「笹丘少年リーダー隊」を結成し、保護者等と協働した防犯パトロールや歳末防犯パレード等を実施。</p> <p>月1回、役員による定例会のほか、年1回、全構成員を対象とした研修会、機関紙発行による情報提供を実施。</p> <p>団体オリジナルの「ながら防犯・ながら見守り」缶バッジの配布や病院、企業、施設等に「笹丘応援隊シール」を配布し、地域の安全安心に携わるように働きかける等、地域住民が日常的に防犯を意識するための取組を推進するなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	神奈川県警察
団 体 名	湘南鷹取防犯対策委員会
所 在 地	神奈川県横須賀市
代 表 者	松坂 裕
功 績 の 概 要	<p>平成15年、侵入盗の多発を受け、自主防犯活動の必要性を訴える声が高まり、地域の防犯力向上を目的に設立。</p> <p>ほぼ毎日、防犯パトロールを実施し、毎月15日は「一斉防犯パトロール」として、関係機関と共同して行うほか、地区内に居住する愛犬家で構成される「ワンワンパトロール隊」による「ながら防犯パトロール」を実施。</p> <p>地域住民、小学校PTAによる「こども見守り隊」を結成し、小学校の空き教室を活動拠点として、毎日の登下校時間帯における児童の見守り及び授業中における校内の巡回を実施。</p> <p>毎月1回、警察署員、自治体、小学校職員及びPTAによる懇談会を実施し、月間活動の報告や情報提供を行うことで地域が一体となった取組を推進。</p> <p>横須賀市防犯カメラ設置費補助事業を活用して5台の防犯カメラを設置し、効果的な運用に努めるため、毎年定期的に会議を開催。</p> <p>大規模災害発生時における防犯体制の構築に取り組み、県からの補助金を活用して「大震災時特別警戒パトロール隊の任務と活動手順」の作成、活動実施に必要な資器材の整備等を行うなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	岩手県警察
団 体 名	常盤地区防犯協会
所 在 地	岩手県奥州市
代 表 者	藤原 正美
功 績 の 概 要	<p>昭和27年に設立、市町村合併等を経て平成元年に現在の団体名称となる。</p> <p>「リンリンパトロール隊」を結成し、13行政区において活動日時を決め、昨年は136回の防犯パトロールを実施。</p> <p>町内会、老人クラブ、PTA、子ども育成会等と一体となり、ハンドベルを鳴らしながら行う「リンリンパトロール」は、「聞こえる防犯」として地域に認知されているだけでなく、参加する子供の防犯意識の高揚と各地区における世代間交流を実現。</p> <p>毎月1回、中学校の校門前で学校と地域、生徒と地域の関係を深めるために朝のあいさつ運動を実施。</p> <p>「子供110番の家」を委嘱する21カ所を巡回し、看板の設置状況や子供が駆け込んだ場合の通報要領等を確認。</p> <p>夏休み前に小学校において子供の犯罪被害防止、非行防止を目的とした防犯教室を実施。</p> <p>地域安全運動期間中等における拡声器による車両広報の実施、関係機関と協力した広報啓発活動に取り組むほか、事件事故多発地域には注意を喚起する掲示板や看板を設置するなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	愛知県警察
団 体 名	根石学区防災防犯協会連合会
所 在 地	愛知県岡崎市
代 表 者	鈴木 弘一
功 績 の 概 要	<p>昭和23年、防災・防犯思想の普及を図る目的で設立、昭和52年に現在の団体名称となる。</p> <p>子供の安全確保等を目的とした「根石声かけ隊」を組織し、毎日、通学時間帯における通学路の交差点での立哨、付き添いによる見守り、下校時間帯における青色防犯パトロールを計画的に実施するほか、隊員が愛犬の散歩時や自転車の前かごにパトロール実施中のプレートを付けて行う「ながらパトロール」を実施。</p> <p>毎年10月、「わが町安全チェックパトロール」として学区内の戸建て及び集合住宅、駐輪場や公園等の防犯診断を通算100カ所以上で行い、管理者に対策を依頼。</p> <p>年1回、警察署と協力して小学校児童を対象とした不審者侵入訓練、敬老会の会員を対象とした防犯教室を開催するほか、地域住民の防犯意識の高揚等を目的とした横断幕を毎年度作成し、学区内の各所に掲出。</p> <p>団体の活動内容は、毎月開催される定例会を経て犯罪発生情報等とともに学区内全世帯に配布するほか、機関紙やホームページでも情報を発信。</p> <p>若い世代の防犯意識の高揚とボランティア活動の活性化を図るため、大学生ボランティアと共に児童の見守りに取り組むなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	岡山県警察
団 体 名	藤田安全パトロール隊
所 在 地	岡山県岡山市
代 表 者	笠原 良雄
功 績 の 概 要	<p>平成16年、当時全国的に子供達や高齢者が被害者となる事件が相次いだため、「地域の安全と安心は地域の絆で」との思いをもって設立。</p> <p>毎日、登下校時間帯に立哨による子供の見守り、青色防犯パトロールを実施するほか、月1回、空き巣等の不審者発見を目的とした夜間パトロールを実施。</p> <p>児童の登下校の様子を校長、教頭先生に報告し、意見交換を行う情報交換会を定期的実施。</p> <p>小学校と協力し、新入生を迎える時期での「対面式」や児童による合唱、感謝状の贈呈を通して日頃の活動への感謝の意を伝える「感謝の給食会」の開催など、隊員と新入生が交流する場を設け、顔の見える関係を構築。</p> <p>地域行事における会場周辺の警備や交通整理を実施するほか、警察署と連携した各種広報啓発活動を実施。</p> <p>年3回、防犯意識の高揚と隊の活動紹介、新規隊員の獲得等を目的とした「藤田安全パトロール隊だより」を作成して地域住民に配布。</p> <p>若い世代の防犯ボランティアと交流会を行い、合同による下校時の児童の見守りや日報の管理等を通じて隊員の活動状況を紹介、指導する等、次世代の育成にも取り組むなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	法務省（長崎保護観察所）
団 体 名	壱岐 ^{い き} 地区更生保護女性会
所 在 地	長崎県壱岐市
代 表 者	長嶋 恵子
功 績 の 概 要	<p>昭和34年、オパール婦人会として設立され、平成16年に現在の壱岐地区更生保護女性会に改称。</p> <p>地域における健全な青少年の保護育成と明るい地域社会作りを目的として、“社会を明るくする運動”強調月間における広報パレードや街頭啓発活動への参加、青少年の健全育成運動への参加、児童の登下校時における見守り運動等を実施。</p> <p>平成16年からは、毎年、他機関と連携しつつ、子どもと大人と一緒に集団ゲームや昔ながらの遊び等を楽しむ「こどものひろば」を開催するなど、地域の仲間としての連帯意識を醸成・強化することで子どもを非行から遠ざける活動を実施。</p> <p>また、放課後児童クラブにおける「そうめん流し」の実施のほか、地域の子どもたちと農業体験活動を行う「収穫祭」、子どもたちに伝統文化の体験学習の場を与え、地域交流の場を提供する「石田野^{いわたの}広場」等のイベントや、地域の学校の教員等が参加する学校支援会議「清石^{くよし}の会」にも積極的に参加。</p> <p>長年にわたり、地域一体となった活動によって、犯罪や非行に強い明るい地域社会の実現に向けて取り組むなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	福岡県
団 体 名	NPO法人SFD21JAPAN
所 在 地	福岡県福岡市
代 表 者	小野本 道治
功 績 の 概 要	<p>平成13年、体力増進を目的とした筋力トレーニングチームを発足し、平成15年からは、青少年の立ち直り支援活動を開始。平成24年に支援拠点となるジムを開設。</p> <p>スタッフが非行やひきこもり等の困難を有する青少年とアームレスリングを通じて交流しながら、立ち直りのための相談や支援を実施。</p> <p>また、ジムを拠点として、専任のスタッフによる生活習慣の改善や就学・就労支援等の社会的自立のための支援、少年とともに行う高齢者施設での清掃活動等のボランティア活動や無農薬の野菜作り等を通じて、少年の更生を支援。</p> <p>加えて、「非行からの立ち直り支援」等をテーマとした講演活動や、九州大学と連携して、元非行少年と学生が議論するイベントを実施するなど、困難を有する若者を取り巻く社会に対する理解の増進にも取り組んでいる。</p> <p>アームレスリングを活用した独自性のある支援活動を行うことにより、地域における再犯・再非行の防止に貢献をするなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	法務省（矯正局）
団 体 名	株式会社 ^{しんくるしま} 新来島どっく
所 在 地	東京都千代田区 （大西工場：愛媛県今治市）
代 表 者	曾我 哲司
功 績 の 概 要	<p>昭和36年から、同社大西工場を受刑者の就労の場（松山刑務所大井造船作業場）として提供するとともに、同社敷地内に建設した寮舎（友愛寮）を同作業場で就業する受刑者の生活の場としても提供。</p> <p>また、同社社員の教育や訓練のために設置している施設・設備についても、受刑者に対する職業訓練（ガス溶接技能、玉掛技能、フォークリフト運転技能等の資格の取得）のために提供。</p> <p>同作業場は、全国に4施設ある開放的施設の一つであり、一般社会の生活に可能な限り近い環境の中で受刑生活を送ることにより、自発性や自律性が涵養されるなど、受刑者の円滑な社会復帰に寄与。</p> <p>加えて、開放的施設に関する地域住民の理解の促進等のため、同作業場で就業する受刑者による地域清掃活動等の社会奉仕活動にも理解を示すほか、約60年もの長きにわたり、3,700名を超える受刑者を受け入れ、受刑者の改善更生及び円滑な社会復帰に多大な貢献をするなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	法務省（京都保護観察所）
団 体 名	京都BBS連盟
所 在 地	京都府京都市
代 表 者	水口 萌子
功 績 の 概 要	<p>昭和22年、京都少年保護学生連盟として発足し、昭和36年に現在の京都BBS連盟に改称。現在は12の地区BBS会で構成。</p> <p>保護観察所や家庭裁判所からの依頼により、非行少年の学習支援や遊び相手となる等の「ともだち活動」を行うなど、非行少年に対する継続的な支援を実施。</p> <p>また、同連盟内に4つの「PT（プロジェクトチーム）」を設置し、外部機関とも連携しつつ、少年の支援に関する様々な取組を実施。具体的には、それぞれのPTにおいて、児童自立支援施設や矯正施設に入所中の少年の学習補助や施設行事への参加（<small>きょう</small> 淇陽PT及び少年院PT）、家庭裁判所が実施する社会奉仕活動への参加（家庭裁判所PT）、京都府警少年サポートセンターや京都府家庭支援課と連携した非行に至る前の少年に対する学習支援を含む寄り合い型の支援及び児童相談所と連携した引きこもりや不登校の少年への家庭訪問（立ち直り支援PT）等を実施。</p> <p>長年にわたり、関係機関との連携の下、学生が大部分を占めるという団体の特色をいかして、地域における再非行防止に取り組むなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	法務省（矯正局）
団 体 名	公益財団法人日本盲導犬協会 島根あさひ訓練センター
所 在 地	島根県浜田市
代 表 者	高野 秀一
功 績 の 概 要	<p>平成21年から、PFI刑務所の1つである島根あさひ社会復帰促進センターにおいて、受刑者に対する改善指導プログラムの1つとして、同センターや地域の協力者と連携し、「盲導犬パピー育成プログラム」を提供。</p> <p>同プログラムは、受刑者が盲導犬候補の子犬（パピー犬）と24時間生活を共にして育成することを通じて、受刑者の改善更生を目指すという我が国初の試みであり、令和2年1月までに、276名の受刑者が受講。同プログラムを通じて、受刑者の責任感や忍耐力、社会の役に立っているという自己肯定感の向上が図られるなど、受刑者の円滑な社会復帰の促進に寄与。</p> <p>また、同プログラムにより、パピー犬62頭を育成し、うち13頭が盲導犬となる成果を上げているほか、受刑者に対する、盲導犬育成事業や視覚障がいを理解するための講義等も実施。</p> <p>同プログラムを通じた受刑者の再犯防止のみならず、視覚障がい者が安心して生活を送ることができるための社会環境作りにも貢献するなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	法務省（山形地方検察庁）
団 体 名	社会福祉法人山形市社会福祉協議会
所 在 地	山形県山形市
代 表 者	鞠子 克己
功 績 の 概 要	<p>昭和26年、社会福祉事業の効率的運営及び組織活動の促進による福祉の増進を図ることを目的として設立され、昭和32年、法人認可を受ける。</p> <p>平成28年から、山形市の委託を受け、「福祉まると相談事業」を実施し、その中で、孤立や困窮が原因で罪を犯した者等について、多機関連携による福祉的支援を行い、円滑な社会復帰につなげている。</p> <p>また、平成30年からは、山形地方検察庁における再犯防止のための入口支援のアドバイザーとして、同検察庁の入口支援事案における連携先等について提案しているほか、同検察庁との協働の下、要支援対象者の支援会議の実施、福祉機関や医療機関等への同行を積極的に行い、支援対象者を福祉サービスにつなげるとともに、その後も必要に応じて見守り訪問を継続的に実施。</p> <p>地域における支援のネットワークを醸成するために司法と福祉等との連携に取り組み、再犯防止に大きく貢献するなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	福岡県警察
団 体 名	田川警察署少年補導員連絡会
所 在 地	福岡県田川市
代 表 者	入船 清
功 績 の 概 要	<p>昭和43年に会が発足して以降、学校警察連絡協議会及び青少年育成会等の地域の関係機関と連携し、夜間等における街頭補導活動や少年の見守り活動等を実施。</p> <p>また、少年の立ち直りのために、非行等を繰り返す少年らと地域の清掃ボランティア活動に参加する等の非行防止活動を始め、少年や保護者との面接、学習支援、料理教室等を通じた支援活動を実施。</p> <p>平成24年以降は、福岡県立大学学生サポーター約50名と警察関係者約20名が協働し、非行少年等が入所する児童養護施設の児童を対象とした、「ふれあいソフトボール大会」を実施。</p> <p>加えて、非行防止等標語コンクール、地域の駅前での早朝乗車マナーアップキャンペーン等、少年の非行防止や健全育成に向けた広報啓発活動を実施。</p> <p>関係機関と連携した補導活動や非行防止に向けたイベントの実施等、多岐にわたる立ち直り支援活動に精力的に取り組むなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	法務省（東京保護観察所）
団 体 名	豊島区保護司会
所 在 地	東京都豊島区
代 表 者	山元 俊一
功 績 の 概 要	<p>昭和28年の会発足当初から、「少年相談室」（現在の名称は「青少年相談室」）において、保護司が交代で、地域におけるいじめ、不登校、非行、家庭内暴力等の相談対応を実施。</p> <p>平成28年には、豊島区更生保護サポートセンターを開設。同センターでは、外部の専門機関・団体と協働して、保護観察終了者を含む薬物依存症者を対象とした回復プログラムを実施し、薬物依存からの回復に向けた継続的な支援を提供。</p> <p>平成30年からは、豊島区への働き掛けにより同区役所内に設置された、青少年問題に対する子ども若者総合相談「アシスとしま」において、青少年相談室と連携した相談対応を実施。</p> <p>また、非行問題等を取り上げるため、区内の中学校の校長会や非行問題等に関する地域住民との意見交換会等を継続的に開催するとともに、地域の民間団体と連携の上、保護観察対象者が参加する社会貢献活動として、池袋駅前花壇の清掃活動等も実施。</p> <p>長年にわたり、地域の関係団体等と連携しながら、再犯防止活動を展開するなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>

